

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第6回 常任理事会議事録

日 時：2015年 6月 9日 (火) 19:00～22:00

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

( 理 事 長 ) : 須山 (敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 澤畑、福田(之)、廣田  
( 専 務 理 事 ) : 金  
( 監 事 ) : 安野  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 羽石、飯野、鈴木  
(日本 JC 委員会特別委員長) :  
( 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ) : 小瀧  
( 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ) : 豊崎  
( 事 務 局 局 長 ) : 飯沼  
( 代 理 出 席 ) : 亀井

1. 開会宣言 <金> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <飯野>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <羽石>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <飯沼>
5. 関東地区宣言唱和 <豊崎>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <金>
9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>
10. 2015年度理事長挨拶 <須山>

6月もだいぶ過ぎてまいりました。まずはこうして常任理事会が開催できることを総務委員会、渉外委員会の皆様に御礼申し上げたいと思います。いつもいつも普通に会議ができることに感謝いたします。1時間前くらいに設営に入るとは思いますけれども、総務、渉外委員会を経験した方はわかると思いますが、もし見かけましたらねぎらいの言葉をかけていただければと思います。そして5月の事業、例会ということでフェスタ in 宇都宮、飯沼事務局長本当にお疲れさまでした。そして、わんぱく相撲、羽石常任大変お疲れさま

でした。二つの事業、例会が二週にわたり連続の事業、例会になってしまいました。フェスタ前に関しましてはじめての参加ということで、多くの市民の皆様と宇都宮 J C のメンバーがふれあうことができ、J C の存在意義というものを発信できたのかなと思います。非常にいろいろな可能性を感じた場所だなと感じました。来年以降どのようにつながっていくのかはわかりませんがしっかりと検証していただいて、もし引き継げるのであれば人の動員に関してはかなり人が集まりにぎやかなイベントです。市と共催できるということを取り付けたことも大きいと思いますので新しい発信とか事業をしていくということでは非常にいいのかなと感じましたのでしっかりと検証をしていただければと思います。また 24 日に行われました、わんぱく相撲に関しましては本当に多くのメンバーのお力をお借りしながら行うことができました。午前中におきましては安野監事が八戸で全国大会運営会議に出席しているところにわたくしもオブザーブさせていただいて、全国大会主幹に関して宇都宮 J C は今年は見送るということをお伝えしてきたわけですが、戻ってみますとメンバーの頑張り子どもたちの笑顔が光っていたなと思います。天候にも恵まれて少し暑いくらいの中で開催ができましたし、17日24日と連続して晴れということは、晴れ男なのかなというように感じましたので引き続き宮まつりに期待していただければと思います。そして6月に入りまして6月5日地区の役員会、フォーラムということでフォーラムには30人くらい行きましたか、そして、翌日には真岡 J C の例会に参加してきました。地区の役員会では全国大会の話をしていただいて、ここまで支援していただいたことに感謝を申し上げまして引き続きのご支援を賜ればという話をしてまいりました。それに対しては非を唱える方はおりませんでしたので、私たちはそれに向けて準備を進めていければと思います。また6月6日のフォーラムにおきましては町田という地に30名ほどのメンバーがおりました。何のためにフォーラムに行くのかというのはそれぞれ理由はあると思います。見たいフォーラムがあるとか時間があつたからとかだれかが行くからとかいろいろあると思いますが、最初は乗り気でなくてもいざ行ってみてフォーラムを聞いて学びを得ることもあると思います。メンバーと一緒に時間を共有するということは有限なのです。ずっとこの時間が続くわけではないので、無理をしてきてもらってその時間を共有していただだけでも価値があるのかなと思いますので、来ていただいたメンバーのことはねぎらっていただきたいと思います。また6月7日の真岡 J C の例会も3月の葛西紀明さんの講演に真岡 J C の大瀧理事長がメンバーを引き連れてきていただいて私は義理を感じていつてきたわけですが、内容に関してはそれを覆す内容でありました。内容の説明は1分くらいで飯沼事務局長にお願いしたいと思います。

<飯沼> 6月7日の真岡 J C 主催の植松努さんの講演を聞いてまいりました。ロケットを飛ばすようなことをやっている方です。内容に関して植松先生がおっしゃりたかったことは、子どもたちの夢は絶対につぶさないこと「どうせ無理」という言葉をどんどん言わないようにしていけば世の中がよくなる、子どもたちも夢が持てるということで、私が一番印象に残っているのは、自分の子どもに対して「将来何になりたい」と聞いてないか、それは間違いだとおっしゃっていました。「将来何をしたい」と聞くべきだということです。何になりたいと聞いて子どもが医者といった場合それは医者に限定されてしまう。ところが何をやりたいと聞いた場合に、人を助ける仕事をしたいとなれば医者だけでなくいろいろな幅が広がるということを知ったときに、自分の子どもに何になりたいと聞いていた自分を大変反省した次第でございます。想いは招くということコンセプトに子どもを最初から否定するのではなくて子どもの夢を広げるような発想で想いを熱く語っていただきました。プレゼンの手法につきましてもスティーブジョブスがやっていたような手法で、ヘッ

ドマイクを付けて後ろでパワーポイントを使ってわかりやすくやっていてプレゼンの勉強にもなりましたし、真岡JCの例会で参考になったことは例会に40社くらい協賛がついていまして一般の来場者がそれを見たときに結構すごいと感じるのではないかと思います。動員数は1200人目標に対して700人くらいだと思いますが一般市民の方の参加が多く非常に良い例会だったと感じました。

<須山>

たぶん、すべては伝わらないと思います。飯沼事務局長は学びを得てきたわけですし私も

非常にいい例会だったと思いますが、やっぱり実際に行かないと伝わらないのだと思います。ですから、無理をしていただいて5人は非常にいい経験を得たわけですがそれでもそれを今後伝えていく、事業や例会にエッセンスとして入れていくにはその5人が手法とか考え方を伝えて出していかなければならないのですが豊崎局長も是非とも皆さんに伝えていってほしいと思います。YouTubeにも載っているのですが私が言っても皆さん見ないと思いますので、このようなことは実際にいった方がどのように行動に移すかだと思いますので、よろしくお願いします。最後に拡大についてですが、ここ6月に来て少し苦しんでいるところを感じられます。もう一度ここでみんなで知恵を出し合って拡大を盛り上げていけばいいかと考えなければと思います。たぶん情報というのはすでに出し尽くしたところであろうというのがこの6月だと思います。ここから宮まつりに向けてギアを上げるのであれば何か新しいやり方とか手法をそして、熱意というものをもっていかなければ、もう一度エンジンというのかからないと思いますので、是非とも今日懇親会があればその場でお話しいただければと思います。前回の理事会の時も懇親会の参加人数が少なくなってきたので、皆さん疲れてきているのだと思いますが今日も元気に常任理事会やっていきましょう。

#### 1 1. 直前理事長挨拶

村上直前理事長欠席のため割愛

#### 1 2. 役員報告

豊崎局長より、6月例会のご案内。

鈴木常任より、宮まつり出向者会議、ポスター貼りの参加および協力依頼。

羽石常任より、ブロック栃木フォーラム委員会よりフットサル事業のご案内。

#### 1 3. 協議事項

協-1 3月 研修例会 開催報告並びに決算（案）について  
協議資料に基づき、羽石常任より上程文の読み上げ

<金> 対内目的に関しては達成できたのかという点に関して、事業目的達成の部分と委員長所見の部分からわかりづらいので説明をお願いします。

- <羽石> 1000人以上を動員できたという結果からして、メンバーの意識の高揚を図れたといえると思いますが、実際に講演会に来なかったメンバーに関しては自己を変革する意識の高揚ということは未達成だったのかと思います。
- <金> 書き方を精査していただければと思います。
- <亀井> 講演の内容に関しては、委員会と講師の間で話し合っていたものと比べていかがでしたか。
- <羽石> 内容は打ち合わせていたこととほぼ同じでしたが実際に行動に移せる人が少なかったことは委員会としては反省すべきところでした。
- <飯野> 問題点について、講演を聞いていなかったのは来場者なのかメンバーなのか教えていただけますか。
- <羽石> メンバーのことですが表現を修正します。
- <金> 予算上でFAXにかかわる予算との差異が生じている理由を説明してください。
- <羽石> 以前の参加者に別枠で送っている方とCSRにも送っているので、委員会が足で稼ぐような方法をとりました。
- <飯沼> 今回利用した広告媒体それぞれの効果というものは確認することは難しいと思いますが、それぞれの感想としてはどのようにお考えでしょうか。
- <羽石> アンケートの中にどのようにこの講演会を知りましたかという項目がありましてその他WEBサイトという回答がそれにあたると思います。無償の広告媒体に関しては今後も活用していく必要があるのかと思います。
- <須山> 150万円の費用をかけて今後もこの事業を継続するべきですか。するべきと思うならそのようにご記載ください。予算上の問題点のところに記載していただければと思います。たぶん歯止めが利かなくなっていくと思いますので、150万で葛西さん呼んで1369人で、次は200万で1500人超えというようになりかねませんので、検証いただければと思います。動員の部分で検証を見てもとポスターチラシを見てきた方が多いとありまして、ポスターチラシ配布計画がありますが、本当に計画とおりに撒けたかということに関していかがですか。
- <羽石> 大体はできていたと思います。
- <須山> 何が言いたいのかといいますと、また秋には研修例会もありますし来年以降も宇都宮JCは研修例会を続けると思いますが、今回ポスターチラシを撒いて効果がなかったところがあればチェックすることが必要ですし、それで配

布先が減るのであればさらに新規の配布先を開拓することが必要だと思います。100か所全部撒けたのかということも疑問ですし、オリオン通りにはたくさん貼ってありましたし、撒けなかったからダメという話ではなく次につなげなければならないと思っていますので委員会で再度もんでいただければと思います。

協-2 7月 メディア例会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より変更点の読み上げ

- <羽石> プレスリリース、案内文に関して再度精査をお願いします。
- <飯野> パワーポイントを使用するとのことですが、会場の大きさから映像が見つらい可能性があります、紙資料を用意するなど何かしらの対応をお願いします。
- <飯沼> なるべく前を向いていただきたいとの思いから紙資料はご用意しませんが、ご指摘の問題に対応するため後方専用スクリーンを用意しております。
- <亀井> チラシのクラウドファンディングの説明を精査してください。
- <須山> プレスリリースについて前回指摘部分がかわっていないので理事会までに対応をお願いします。個人的な部分ですがクラウドファンディングを学ぶというタイトルよりあなたのアイデアが未来を変えるという方がキャッチーでわかりやすいと思います。そうしてくれというわけではなく、委員会で検討してください。講演説明の中身がよくないですね、クラウドファンディングとは何だろうというところですがクラウドファンディングという言葉は枕詞にして書いているのでしょうかこれは1分で書いた文章だと思います。10番項の事業内容のところをみるとしっかり練られているのですが、たぶん書いた人が違うのだと思います。これも一案ですが、講演内容の説明のところであれば1の4のところ、老若男女誰でもアイデアひとつで可能性が生まれま、というタイトルの方が良さそうですし、種類の説明に関しても寄付型、投資型、行使型がありますよとか。3番目のところでしたら最初のクラウドファンディングというところをなくして、市民によるまちづくりにつなげるクラウドファンディングとは、というように変えてもよいのかと思います。改めて審議対象の15番をみると中身がひどいですね、これは配布物ですか、もう一度練り直した方が良いかと思います。むしろ事業内容の部分をコピーした方がまだいいのかなと思います。ポスターについては意見ありません。

協-3 第第113回通常総会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より変更点の読み上げ

- <澤畑> 参考資料の出席率のデータを載せている理由は何ですか。

<飯沼> 出席率の目標8割が過去現実的には届いていないという意味で資料を載せました。

<須山> 特にありません。

協一 4 8月 宮まつり例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料に基づき、鈴木常任より変更点の読み上げ

<金> 審議対象資料の案内文が2014年になっています。例会名で書くのであれば正式な8月宮まつり例会と記載してください。議案上程スケジュールですが12月に報告となっていますが、事業計画上は10月ではないですか。

<鈴木> 訂正します。

<羽石> 事業要綱の背景の中に調和というところと必要とされていますとありますが誰と調和し誰に必要とされているのかを説明してください。

<鈴木> 宇都宮のまちが変化していくことにあわせて宮まつりも変化していくということを踏まえ、市民のニーズにあわせてまちが変化するように宮まつりも進化していくという意味でこのような背景になっております。

<羽石> てにをはとか主語、述語の問題と思いますがもう一度精査してください。

<豊崎> 審議対象資料の特別会員案内文の精査をお願いします。

<飯野> 期待される効果のバルーンセレモニーについて説明をお願いします。

<鈴木> 全体像をご理解していただくためにそこに書かせていただきましたが、内容としては宮っこパレードの時に園児に風船をもって登場していただいて、みんなで一斉に放すということになっています。資料はありますので記載しますか。

<飯野> 予算上計上されていなければ載せなくてもと思いますが、計上されるのであれば記載をした方がよろしいかと思えます。

<金> 載せられるのであれば載せた方が理事会構成メンバーは理解しやすいと思います。

<金> 9月の反省会の場所は決まっていますか。

<鈴木> 細かい日時は決まっておりませんがコンセーレの大ホールを考えております。出向者会議と同じような形式で担当ごとに問題点をだし、その後全体で共通理解するように考えています。

<金> J Cの事業としてやるのであれば予算計上して議案にも反映させてください。

- <鈴木> 事務局会議においてL O Mの事業にするか実行本部の事業にするか決まっていますので決まってから入れさせていただきます。
- <福田> 対内目的に対しての反省もあるのであればL O Mの事業と考えるべきではないかと思います。
- <須山> ボランティアについて募集の方法はどのようになっていますか。何人程度集めようと思っていますか。
- <鈴木> 事務局と連携をとりまして前年度の参加者、過去の参加者、まつりの参加団体に対して資料をお配りしております。また、学生ボランティア、広報うつのみや市発行のその他の広報誌にも掲載しております。人数はできるだけ多い方が良いと思います。
- <須山> 開催委員会が集めているのですね。
- <鈴木> 開催委員会です。
- <須山> 開催委員会がということではわれわれには資料がないということですね。それでしたらボランティアの警備資料が少し雑ですね。口頭の説明が加わってわかる資料ではなく読んでわかる資料にしないといけないと思います。1回は会議に参加してくださいということであれば、資料をもらって帰ってしまう方もいる可能性がありますのでもう少し詳細な資料にしてください。また、依頼事項の13の8番ですが、二日目の宮まつり終了後、直会の会場にて監事講評、閉会宣言、清掃活動がありますのでメンバー全員の参加を促してください、とありますがこれは丸治を清掃するというのか、直会の後に清掃活動と読めてしまうので修正してください。

協一 5 第31回わんぱく相撲全国大会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、羽石常任より変更点の読み上げ

- <安野> 7月の理事会で審議をとるのではなく6月の審議でいければダンスの議案に集中できると思いますがいかがですか。
- <羽石> 検討いたします。
- <金> 前回までの意見と対応のところで誤字が見られますので精査をお願いします。
- <須山> 前年度からの引き継ぎ事項のその他のところで、来年におきましても現4年生現5年生なので頼もしい子どもたちに育っています。委員会においても全面的にサポートしてくださいとありまして、対応にサポートします。とありますがどのようにサポートするのでしょうか。
- <羽石> 確認します。

<須山> 書き方を少し工夫してください。全国大会の子どもたちの練習をしっかり見守ってあげてください。壮行会は決まりましたか。

<羽石> 練習の日時は決まりましたが壮行会はまだです。

<須山> 決まりましたら伺いますのでお知らせください。

協-6 9月 青少年ダンス事業 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、羽石常任より変更点の読み上げ

<金> 医療従事者は呼ぶのでしょうか。

<羽石> 看護師の派遣を予定しております。

<金> 協力していただくのであれば記載をお願いします。

<鈴木> ポスターについて紅白ダンス合戦なのに優勝者にはというのはわかりづらいと思います。優勝者にはプレゼントもいらないと思います。

<羽石> プレゼントは消していく方向で動いております。紅白ダンス合戦に関しては自分のチームだけという意識を打破したいという思いでそうしました。

<鈴木> この文言でいいとは思いますが、参加した方が紅白に分かれて行うということがわかるようにしていただければと思います。

<羽石> ポスターにはこのような記載ですが、参加者に配る募集要項にはその旨がわかるようにしております。

<澤畑> 今の意見であれば出場者を募集するポスターでなく、観覧者を集めるポスターでないとおかしいと思います。それでなければ予算をポスターにかける意味がないと思います。

<飯野> 大会が始まってしまうと子どもたちとのやり取りなど司会の方にかかる内容が多いので、司会をボランティアでなくプロの方に頼んでもよろしいのかと思います。

<小瀧> 緊急車両の導線を確認し記載をお願いします。

<澤畑> ビジターの参加推進方法はないのですか、しかも2名という根拠はどこから来ていますか。

<羽石> 推進方法は記載されていません、申しわけありません。2名というのは委員会で連れてくることのできる人数です。



- <安野> 委員会スケジュールをはっきりさせていた方が進めやすいと思います。
- <鈴木> 後援名義使用許可証は何に使われますか。
- <羽石> 市役所の後援を得るための書式となります。
- <金> 協賛企業に関して協賛いただくことになった経緯と協賛品の個数を教えてください。
- <羽石> 下話の段階ですが開催の趣旨にご賛同していただいた企業であるということと、個数に関しては参加人数によって個数が決定するので記載されておりません。
- <金> 参加者数によってその数量を出していただけるということですね。
- <亀井> 緊急対応に関して参加者の方にも事前説明会で説明した方がよろしいかと思えます。
- <小瀧> アンケートは誰を対象にしていらっしゃいますか。
- <羽石> 参加者の親になります。
- <小瀧> 開催場所について柳瀬小は前回までの経緯がわからないと意味がないのでいらないと思えます。
- <鈴木> オリオンスクエアを無償で借りることについて市との打ち合わせはどのようなになっていますか。
- <羽石> 内容に関しては大丈夫とのことで、こちらの資料がそろい次第許可していただけたとのことです。
- <鈴木> 準備体操がないのはなぜですか。
- <羽石> 参加者が全員集まるタイミングが着替えなどのスケジュールによりとれないためそれぞれのチームで行っていただくようにしております。
- <飯野> 参加要項に参加団体数が記載されていますが参加団体数に偏りがあるのではないですか。
- <羽石> 委員会で各団体を調べた数をもとに記載しています。
- <飯野> 募集要項に数を載せる必要はないと思えます。先着順など記載して結果こうなりましたでいいと思えます。
- <澤畑> この議案をみるとどうするかに追われていて、どう動くかまで行っていない。

タイスケとか各委員会の役割をみるとすごく雑に感じます。縦軸と横軸、どの時間にだれが何をすることが見えないといけないのでしっかりと資料を作ってください。

<小瀧> ボランティア募集はどこに発信しますか。

<羽石> アート&スポーツさんに発信します。

<須山> アート&スポーツさんへ協力をお願いの方がよろしいのではないですかね。質問ですが、この例会の成功って何ですか。

<羽石> 参加者、そして会場にいらした方が笑顔になることが前提条件で、参加した人が良かったなと思えることが成功だと思います。

<須山> ちょっと目的とずれているかなと思いますがその辺がはっきりすると良いのかなと思います。もう一点対外目的の中に他者を思いやるとありますがどの辺に現れていますか。

<羽石> 紅白にわかれて行うことで同じ色のチームを応援することにより実現できると思います。

<須山> どの辺りですか。今の答弁ですと紅白に分ければ勝手に応援するのではという感じになっていて、そこをどのように盛り上げればよいか、ゲストダンサーと一緒に踊るなどで一体感を出そうとしているのでしょうか。議案に現れていないです。それで他者を思いやる気持ちができるのかなというところがぼやけているのだと思います。最後に今回この委員会でチャレンジしようとしていることは何ですか。

<羽石> 具体的になっていないです。

<須山> ぜひ意見と対応のところ、委員会の今回のチャレンジはどこですか、この例会の成功とは何ですか、と他者を思いやる気持ちはどのように醸成しますか、の3点を委員会でしっかりと再考して記載してください。ここまで組上がってきたからこそこのような意見が上がってきたわけですから、もう一度原点回帰で自分たちの事業を見つめなおしてみてください。

協一 7 9月 50周年準備例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料に基づき、飯野常任より上程文の読み上げ

<鈴木> 委員会スケジュールの1月から4月の説明をお願いします。

<飯野> 翌年の事業につながる記念誌の資料作成などをしていました。

<金> 財政的な観点から何かありますか。

- <豊崎> 財政的な観点では問題ありません。
- <豊崎> 居酒屋例会というものに関してもう少し説明をお願いします。
- <飯野> 宇都宮 J Cで過去にやった議案自体は残っていないのですが、他の L O M の資料がありますのでご参照ください。
- <飯沼> 議案からは居酒屋でやろうということに説得しようとする意図を感じました。質問ですが 1 部の説明に関してこれからだとは思いますが、イメージをお聞かせください。
- <飯野> 第 1 部におけるパワーポイントの内容に関してはその頃の宇都宮の時代背景にある問題点に対して歴代理事長の方々がどのような想いで事業を行ったか取材をしたものになっていて、必要に応じて映像なども取り入れようと思っています。
- <飯沼> 7月の常任には具体的な映像の資料は出てきますか。
- <飯野> 7月の常任からは出していく方針です。
- <羽石> 第 2 部で実際に話し合う内容に関してはこれからということでしょうか。
- <飯野> 今は内容に関して手が回っていない状況ですが、お酒飲んで楽しかったで終わってはいけないものですからしっかりと非常に重要だと思っています。
- <羽石> 市民討議会でのブレインストーミングの手法をとった経験もあるので必ずしもお酒の力を借りなくとも本来のテーマに対しても答えを導けると思います。
- <小瀧> 目的背景を精査してください。手法に関して飲食店で例会をやることについて日本 J C の事例が参考資料に入っているのですが、日本 J C 会頭という立場との違いがあるので参考にならないと思います。
- <鈴木> ここ 2, 3 年で栃木県内でこのような例会をやった L O M はありますか。
- <飯野> ホームページ上ではありませんでした。関東地区ではいくつかやっているところはあります。
- <鈴木> もう少し調べた方が良くと思いますし、日本 J C がやったからということではなくもう少し良い例会にできるようにした方が良くと思います。
- <須山> 前回の意見と対応を載せてください。協議落ちしたのであればその旨書いていただければ、議事録には残っておりますので。会頭公式訪問における居酒屋の青春という手法に関しては、会議ほど固くなく、飲み会ほどゆるくなくその中間のような手法でして、固い話題の時に、お酒を飲みつつみんなで話し合いながら議論を高めていくという手法が居酒屋の青春という手法で、そ

のあたりの練り込みをしっかりとやってどうしてこの手法にたどり着いたかを見ていかないと、来年の50周年に対してどのようなものができ上がっていくのかを埋めていけないと思います。正副で話し合っているけどどうしても固い内容になってしまう中、よく変更してきたなと思いますので引き続き委員会でもよく話し合っていたらと思います。

#### 14. 報告依頼事項

報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-3 会費納入状況について

<豊崎> 未入金者残り4名です。各委員会で再度、催促をお願いいたします。

報-4 特別会員入金状況について

<豊崎> 変更ございません。

#### 15. 監事講評

<安野>

総務委員会、渉外委員会の皆様早い時間からの設営ありがとうございます。大変感謝申し上げます。協議案件については全体的に誤字・脱字が多いように感じられます。もう一度担当ラインで見直してください。そうすることで議案の中身がよく読み込まれて、目的と合致しているかわかると共に理事会でどんな質問をされても答えられるようになると思います。これは必ずやってください。さて、皆さんは本日の会議で何を共有できましたか。先日、日本JC 地域グループ会議において会務担当常任理事の野元常任理事がおっしゃっていた言葉がありますのでご紹介します。「年当初に掲げた目標はすでに古いものになっています。議案書に書いた背景が変わることもあるが、手段は常に見直せます。常に新しい情報をキャッチして手法に反映させることを心掛けてください。そして私たちの運動を理解してくれる人を増やしていくことで運動を巻き起こすことです。すなわち運動とは良き理解者が広がり連鎖をつくることです。」まず運動を広めようとする時に皆さんならどうしますか。身近な人から声をかけていくと思います。事業や拡大もそうだと思います。身近な人に声をかけられないという事は他の人にもできないと思います。少しずつ理解者を増やしていった私たちの運動を広げていきましょう。そうすることで私たちの運動が連鎖を生んでいくのです。あと6カ月、2015年の宇都宮JCの掲げる運動を着実に進めてまいりましょう。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所  
2015年度 第5回理事会議事録

議長：( 専務理事 ) 金 克彦

議事録作成：総務委員会